

小さなお母さん

お母さんが病気になった
そんなに重くないけど、しばらく家事はで
きそうにない

そんな時立ち上がったのは

お姉ちゃん

お姉ちゃんは「小さなお母さん」となって
家事をこなしていく

当たり前のようだけど

本当は当たり前じゃない

すごいこと

お母さんに聞きながら料理をするお姉ちゃ
ん

さらに僕の学校のお弁当も作ってくれた

そのお弁当は不思議な味がした

おいしいけど不思議な味

僕は「おいしかったよ」と弁当を返した

「ほんまに？」と疑いながらもうれしそう

なお姉ちゃん

僕はお姉ちゃんに感謝している

ありがとう

「小さなお母さん」